

資料2-1 「なにわエコ会議」の活動内容(平成28年度)

(1)主催事業

事業名称	日時	場所	実施主体	備考
大阪南港エコフェスタ	6月4日	ATC ITM棟セントラルアトリウム おおさかATCグリーンエコプラザ	環境教育・啓発部会	共催:大阪府、大阪市、豊かな環境づくり大阪府民会議、おおさかATCグリーンエコプラザ
「おおさか環境科」出前講座	8月10日、8月11日	おおさかATCグリーンエコプラザ	環境教育・啓発部会	共催:大阪環境カウンセラー協会
環境ふれあいひろば in 西区	12月26日	西区民ホール	全体	共催:環境局 協力:西区役所
Hey! Polar! Bear ~ゴミを減らしてホッキョクグマを守ろう~	1月29日、2月25日	天王寺動物園	環境教育・啓発部会	共催:大阪ガス株式会社、大阪市
エコライフセミナー	3月9日、27日	大阪ガスハグミュージアム the Farm UNIVERSAL OSAKA	エコライフ部会	共催:the Farm UNIVERSAL、大阪市食生活改善推進員協議会、大阪市ひとり親家庭福祉連合会
節電・省エネコンペ表彰式	2月8日	中央公会堂	環境に配慮した企業部会	協力:環境局、大阪市環境経営推進協議会
エコアクション21スクール	6月8日、7月6日、8月3日 9月7日、10月5日、11月2日、 12月7日、1月11日	EA21地域事務局大阪 CE西本町ビル8F会議室	環境に配慮した企業部会	共催:エコアクション21地域事務局大阪・中央事務局

(2)区等主催イベント

事業名称	日時	場所	実施主体	備考
住之江区民まつり	6月19日	住之江区民ホール	環境教育・啓発部会	主催:住吉区役所
鶴見区民まつり	9月11日	ハナミズキホール(鶴見緑地)	環境教育・啓発部会	主催:当該実行委員会、鶴見区役所
港区民まつり	10月9日	八幡屋公園	環境教育・啓発部会	主催:当該実行委員会、港区役所

(3)その他出展イベント

事業名称	日時	場所	実施主体	備考
大阪市子どもカーニバル	4月24日	大阪城公園「太陽の広場」 「大阪城野球場」	環境教育・啓発部会	主催:大阪市、大阪市子ども会育成連合協議会
なんばエコプロジェクト2016	7月23日	ヤマダ電機LABI1なんば	環境教育・啓発部会	主催:南海電気鉄道株式会社
セレッソ夏休み宿題応援 「手回し発電機deプラレール体験」	8月7日	ヤンマースタジアム長居	環境教育・啓発部会	主催:セレッソ大阪
ECO縁日2016	9月19日	花博記念公園鶴見緑地	環境教育・啓発部会	主催:環境局
ガレージセール・イン・OSAKA TOWN	10月1日	大阪城公園「太陽の広場」	環境教育・啓発部会	主催:環境局
愛光フェスタ	11月23日	愛光会館	環境教育・啓発部会	主催:大阪市ひとり親家庭福祉連合会
レジ袋削減キャンペーン	10~11月	イトーヨーカドーあべの店 ほか6か所	エコライフ部会、環境教育・啓発部会	主催:環境局

(4)環境情報誌等の発行

情報誌等名称	発行月	作成主体	備考
エコウェーブ22号、23号	12月、4月	全体	
家庭向け省エネ対策集冊子「楽しくかしくエコライフ」	3月	エコライフ部会	
企業向け冊子「電気の省エネ対策集」	2月	環境に配慮した企業部会	

(5)その他の取組み

事業名称	日時	場所	実施主体	備考
ごみ減量市民交流会in大阪2017	2月15日	大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス	全体	主催:大阪ごみ減量推進会議

資料2-2 大阪市環境表彰 受賞者（平成28年度）

区分	受賞者名	受賞理由・活動内容
個人	宇田 吉明 氏	<p>本市に対し環境カウンセラーとして「なにわエコライフ事業」の提案を行い、全国で初めて環境家計簿の取組にPDCAサイクルを取り入れ、市民の方が作成した環境家計簿を回収し、取組結果を「なにわエコライフ事例集」として取りまとめた上で配布し、市民の環境意識の向上に尽力した。</p> <p>また「なにわエコ会議」の提案者であり、平成20年以降「二酸化炭素削減コンペ」を企画・運営し、事業者の環境活動の普及に取り組む等、大阪市の環境行政に協力し、市域における地球温暖化対策の推進に継続的に貢献した。</p>
団体	公益財団法人大阪みどりのトラスト協会	<p>大阪府内に残された貴重な自然環境の保全や里山の保全を推進し、保全事業の実施において企業CSR活動の受入れを行い、また大阪府の交付金を受けて府全域にわたる協働組織の活動支援を行い、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与するとともに、里山、森林ボランティア養成講座の育成を推進している。</p> <p>御堂筋の緑地帯に設置したフラワーベースに植栽し、都市の緑化推進とアメニティの向上に寄与し、またATCグリーンエコプラザを活動拠点とし、市民向けの啓発活動を行っている。</p>
	公益財団法人公害地域再生センター	<p>長年にわたり地域において環境保全、再生に関するイベントを実施しており、平成25年度からの3か年計画においては西淀川区役所の受託事業として、防災の取組を進められ、地域と協働での持続可能な地域・環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>啓発施設のネットワーク「公害資料館ネットワーク」を構築し、公害、環境学習に関するフィールドワークや研修、研究等、より効率的な啓発活動を行い、また近畿初の教育の機会の場の認定を受け、講座イベントを実施している。</p>

事業者	ナフス株式会社	<p>ISO14001取得にあたり、省資源・省エネへの取組だけでなく、給食事業の観点から環境方針に衛生管理手法であるHACCPの概念を取り入れている点で独自性がある。</p> <p>保育園、学校、福祉施設等での給食事業において、献立作成の創意工夫や喫食者へ提供する食事数の管理による食品ロスの削減、食品リサイクルの普及活動に取り組み、社内省エネ・省資源活動を年間計画に基づき、きめ細やかに実施され、また小学校の登校時間に合わせた見守りを兼ねた美化活動や親子クッキングの実施など、子どもや親子への啓発を重視した活動をしている。</p>
	全大阪魚蛋白事業協同組合	<p>福島区役所や他団体と連携した「ざこばの朝市プロジェクト実行委員会」に参画し、当イベントにおいて株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシーの協力を得、芸人による魚料理パフォーマンスなどを計画し、子どもたちにも親しいやすい、魚食、ひいては魚粗リサイクル事業の効果的な普及活動を行っている。</p> <p>食品循環資源を原料として製造した独自の畜産飼料がエコフィード認証を受けており、試験販売を行うなど、循環型社会の形成に向けた様々な取組を行っている。</p>
学校園	大阪市立榎本小学校	<p>地域住民から譲り受けた「えのものの森」を含む“人と自然とのふれあいパーク”を活用した環境学習を行っており、地域・保護者へ講座等を開放し、シニア自然大学校や兵庫県立人と自然の博物館等と連携し、様々な講師、団体等を招いて交流を行っている。</p> <p>東日本大震災以降、全児童が忘れな草を栽培し、陸前高田市立横田小・中学校へ贈呈する等、環境活動を通じた他校との交流による「心の育成」の効果が期待でき、「不登校・保健室登校0人」を更新しており、また環境活動の実施において「プロジェクトチーム」を立ち上げ、職員の異動があっても継続、発展できるシステムの構築を行っており、将来性、継続性が期待される。</p>

資料 2-3 大阪環境産業振興センター（おおさかATCグリーンエコプラザ）の概要

【全体の概要】	①場所	大阪市住之江区南港北2丁目1-10 アジア太平洋トレードセンター ITM棟11階西側
	②面積	4,500平方メートル
	③設置者	アジア太平洋トレードセンター株式会社(ATC)、大阪市
【施設の特徴】	・環境教育ゾーン	・環境ビジネスに対する企業等の取組事例の展示紹介
	・食と環境ビジネスゾーン	・先進的な植物工場の展示を中心に、食と環境に関する技術や製品を展示・紹介
	・環境防災ゾーン	・環境の悪化に伴い増加する災害や、震災から身を守るための商品を紹介
	・すまい・省エネゾーン	・住宅等の省エネ基準適合義務化に向けた断熱・気密・換気性能に優れた建材・部材を展示
	・循環型社会形成推進ゾーン	・循環型社会形成に向けた3R(Reduce, Reuse, Recycle)促進のためのさまざまな環境技術を展示・提案
	・環境・CSRビジネスゾーン	・企業・団体の環境報告書やCSRレポートを展示
	・エコマークゾーン	・(公財)日本環境協会の協力によりエコマーク認定商品の展示やエコマークの商品類型・認定基準等を紹介
	・IATCゾーン	・次世代FA技術者を育成するため、模擬生産設備を使ったトレーニングを行うとともに最新技術の展示や研究会・セミナーを開催
	セミナールーム	・イベントやセミナーの開催
【事業概要】 (平成28年度)	出展状況	79社・団体（平成28年度末現在）
		①環境セミナー 「暮らしと建物の省エネ事例」 「実践！環境経営セミナー」等 計61回
		②ビジネスマッチングイベント 「素材×アイデア マッチングワークショップ」 「エコハウス提案会inATC」
		③その他イベント 「日曜自然工作教室」等 計94回